



東そのぎ 議会だより

第178号

令和4年4月15日発行



彼杵小学校

もくじ

- | | |
|------------|------------|
| • 2～6ページ | 3月定例会 |
| • 7～11ページ | 一般質問(7名) |
| • 11～12ページ | 各委員会調査報告 |
| • 13ページ | 町民の声 |
| • 14ページ | 傍聴者の声・編集後記 |



東彼杵町ホームページ
議会情報

令和4年度一般会計予算 全会一致可決！

令和4年度一般会計予算の主なもの 単位：千円

事業名	総額	内 容
ふるさと納税推進事業	192,174	本年度は目標額 3.5 億円に設定し頑張ります
庁舎維持管理事業	30,894	現庁舎の耐震診断や改修工事
自治体DX推進事業	21,283	デジタルを活用して業務の効率化を目指すもの
持家奨励補助金	12,000	定住するため住宅を取得した者に補助します
結婚新生活支援事業費補助金	3,577	婚姻に伴う新生活支援に補助します
移住支援補助金	3,200	UIJターン者に交付します
空き家活用促進奨励金	8,800	空き家を整備活用するため交付します
地域コミュニティ活動交付金	4,000	地域の維持、促進向上を図るため交付します
町営バス運行事業	29,108	地域住民の交通手段を確保します
コンビニ交付システム導入事業	21,450	戸籍証明書等コンビニ交付するためのシステム改修費
社会福祉協議会運営費補助金	17,968	高齢化社会に対応するため必要です
老人保護措置費（養護）委託	48,050	65 歳以上で心身上及び経済的事情により居宅生活が困難な方が対象です
高齢者タクシー利用助成金	5,759	運転免許を持たない 75 歳以上に対し交付します
障がい者自立支援給付費	302,600	就労移行や施設入所支援といった障害福祉サービス利用等に給付
療養給付費負担金	126,502	後期高齢者医療給付費の 12 分の 1 を負担します
児童健全育成事業委託	22,273	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童の放課後における健全育成のため
施設型給付費	299,396	保育の必要な就学前児童のため私立保育所、認定こども園への運営費給付
保育対策総合支援事業補助金	10,599	保育士雇用人件費補助
一時預かり事業費補助金	10,659	保護者が一時的に保育困難になった場合
保育士等処遇改善臨時特例事業費補助金	8,000	保育士の賃金改善を行うための費用補助
児童手当	105,305	3 歳未満 15,000 円、小学校終了前 10,000 円（第 3 子以降 15,000 円）、中学生 10,000 円、所得制限 5,000 円
出産祝い金	6,200	第 1 子 10 万円、第 2 子 15 万円、第 3 子 20 万円、第 4 子 30 万円、第 5 子以降 40 万円
育児報奨金	1,200	一定の基準を満たした第 3 子以降の子が満 1 歳に達したとき 10 万円
新型コロナ予防接種事業	18,090	それぞれが油断しないよう注意しましょう
東彼地区保健組合分担金（ごみ処理施設）	88,876	ごみ処理施設及び処理事業費
地域振興券給付事業	41,798	新型コロナの拡大で町民 1 人当たり 5,000 円の地域振興券を給付します
道の駅管理事業	17,626	主要観光施設である道の駅の管理運営を行います
大野原高原線改良事業	68,267	上彼杵地区の道路改良を行います
東彼杵中学校大規模改修事業	160,746	校舎内外の改修を行います。当面、新築は有りません

令和4年度一般会計予算 単位：千円

科目	本年度	昨年度	構成比	科目	本年度	昨年度	構成比
議会費	69,381	70,094	1.2	町税	734,739	730,878	12.7
総務費	1,005,733	864,044	17.4	地方贈与税	62,960	59,552	1.1
民生費	1,540,461	1,451,579	26.6	利子割交付金	660	630	0.0
衛生費	407,499	439,092	7.0	配当割交付金	1,500	1,500	0.0
労働費	10	10	0.0	株式譲渡所得			
農林水産業費	305,872	367,295	5.3	割交付金	5,100	1,700	0.1
商工費	122,442	68,010	2.1	法人事業税			
土木費	944,175	878,383	16.3	交付金	8,000	4,500	0.1
消防費	213,494	251,521	3.7	地方消費税			
教育費	684,411	515,282	11.7	交付金	173,000	155,000	3.0
災害復旧費	8,763	73,329	0.2	ゴルフ場利用			
公債費	488,556	516,603	8.4	税交付金	6,000	6,000	0.1
諸支出金	1	1	0.0	環境性能割			
予備費	9,873	8,757	0.2	交付金	4,200	2,900	0.1
歳出合計	5,800,671	5,504,000		国有提供施設等所在市町村助成交付金	1,500	1,400	0.0
4 年度の財政計画では社会保障費の増加が見込まれる中で地域社会デジタル化や公共施設の脱炭素化の取り組み等や防災力の強化などに取り組み安定的な財政運営が必要です。				地方特例交付金	4,200	25,650	0.1
歳入面では、普通交付税において「地域社会再生事業費」や「デジタル社会推進費」が引き続き処置されたことにより増加傾向になっていますが、新型コロナウイルス感染症の影響等、依然として厳しい財政運営を強いられます。				地方交付税	2,000,000	1,940,000	34.5
我々、議会も共通認識を持ち、役割である監視、提言等怠らず町の活性化に寄与したい。				交通安全対策特別交付税	1,000	900	0.0
				分担金及び負担金	10,314	9,151	0.2
				使用料及び手数料	56,871	58,571	1.0
				国庫支出金	660,148	617,422	11.4
				県支出金	443,203	443,398	7.6
				財産収入	14,109	16,157	0.2
				寄附金	350,082	300,082	6.0
				繰入金	559,222	407,195	9.6
				繰越金	40,671	26,000	0.6
				諸収入	245,492	301,314	4.2
				町債	417,700	394,100	7.2
				歳入合計	5,800,671	5,504,000	

町民の生活、こう変わります

令和4年度特別会計

全て可決

水道料金 減免

水道基本料金 1,950 円を 3 ヶ月減免
期間：8 月～10 月（7 月末検針分から）

住民票等コンビニで

マイナンバーカード取得者
住民票等、各種証明書が取得
出来るようになります。

地域振興券 発行

商品券 一人 5,000 円給付
交付時期：5 月下旬予定
（町内業者限定）

令和4年度公共下水道事業会計

可決

役場の部署名・業務一部変更へ

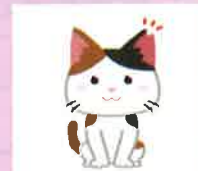
令和4年4月～

変更後	変更前
	まちづくり課（廃止）
産業振興課	農林水産課

飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用補助

飼い主のいない猫・地域猫を対象に一部補助します。（指定の動物病院で手術を受けていただきます）

去勢手術 1 万円補助（1 万 5 千円に対する補助）
避妊手術 1 万 2 千円補助（2 万円に対する補助）



（千円以下切捨て）

	本年度	昨年度
公共用地等取得造成事業特別会計	32 万円	34 万円
国民健康保険事業特別会計	11 億 7100 万円	12 億 1800 万円
介護保険事業特別会計	8 億 4400 万円	8 億 1760 万円
後期高齢者医療特別会計	1 億 2412 万円	1 億 1900 万円
農業集落排水事業特別会計	5100 万円	8620 万円
漁業集落排水事業特別会計	1370 万円	1810 万円

（千円以下切捨て）

収益的収入	3 億 410 万円
収益的支出	2 億 5647 万円
資本的収入	7628 万円
資本的支出	1 億 7715 万円

令和4年度水道事業会計

可決

（千円以下切捨て）

収益的収入	2 億 4475 万円
収益的支出	2 億 3715 万円
資本的収入	1 億 4203 万円
資本的支出	1 億 5120 万円

町政を問う！ 7名が一般質問

一般質問とは
町の行政全般にわたり町長等執行機関に対して行う質問。制限時間 60 分以内。会議録は後日ホームページで閲覧できます。

(本稿は質問者の責任で作成しています)

- 1 橋村 孝彦 議員
●庁舎整備の進捗状況について
●教育委員会の人事管理について
- 2 大石 俊郎 議員
●新庁舎建設をめぐる町長の方針について
●小中学校の将来構想について
●給食センター異物混入事案を巡る答弁について
- 3 立山 裕次 議員
●体育施設の改善と今後の活用について
●若い力の活用について
●人口減少の中での町づくりについて
- 4 口木 俊二 議員
●国道二〇五号の朝の渋滞対策について
●旧大楠小学校下の町道の改修について
- 5 尾上 庄次郎 議員
●彼杵旧港の土砂堆積について
●音琴港の係船の岸壁改修について
- 6 林田 二三 議員
●本町の教育環境の現状と学校校舎について
- ★町長の施政方針に対する一般質問
- 浪瀬 真吾 議員
- 大石 俊郎 議員

庁舎は新築で検討中

橋村 孝彦 議員



【橋村】進捗状況は。
【町長】議会提案である新築で進める。
【橋村】耐震性を満たしていない庁舎でなければならぬとした県の命令を町当局が間違えて解釈していたのか。
【町長】その様な認識はない。
【橋村】過疎地域指定で国より充当率70%の起債が発行出来る。償還に余裕ができるのでは。
【町長】その方針で基金を増やし対応したい。
【橋村】町民への説明はどのようなタイミングが望ましいと思うか。
【町長】白紙の状態の説明はあり得ない。然るべき時期に実施したい。

教育委員会の人事管理は適切であったか

【橋村】希望を持って就職した町職員が神経過敏な状態となり長期休職に追い込まれたのは社会の損失だ。当該職員は復職を望んでいるが出勤できないのは外部からの圧力が原因では。
【教育長】それも考えられるが、本人でないと解らない。
【橋村】信賞必罰の賞は誰しもが喜び、やる気を喚起せしめ生産性が上がる。必罰は注意しないと逆に士気が低下すると思うが。
【教育長】成果を上げた人は称賛したい。必罰と云う考え方はない。
【橋村】始末書、上申後の処分は人事管理者の裁量権の範ちゅうでは。
【教育長】各事案により判断している。
【橋村】前教育長は人事管理に不手際があったとして追及され引責辞任されている。長期病休中の職員は平成三十年前後、



消防団員報酬等改善へ

(単位:円)

改正後				改正前		
区分	階級別	支給区分	支給額	階級別	支給区分	支給額
年額報酬	団長	年額	288,000	団長	年額	288,000
	副団長	年額	240,000	副団長	年額	240,000
	分団長・主事	年額	224,000	分団長・主事	年額	224,000
	副分団長	年額	46,000	副分団長	年額	46,000
	部長	年額	38,000	部長	年額	38,000
	班長	年額	37,000	班長	年額	34,000
	団員(補助団員を除く)	年額	36,500	団員(補助団員を除く)	年額	32,000
出勤報酬	共通	災害警戒等出勤の日額	8,000 円以内 で町長が別に定める額			

農業委員会委員 新メンバーでスタート

令和4年6月から農業委員は16名から14名に変更となります。次期農業委員を任命することについては全会一致で同意しました。

【任期】令和4年6月15日～令和7年6月14日
(○新任)

氏名
迎 幸枝
森田 誠
○ 出口 武美
西坂 秀徳
清心 由紀美
○ 入江 政幸
○ 福田 光宏
○ 川井 一生
宮脇 喜八郎
森 計人
○ 山口 壽博
○ 森 重幸
林田 佐知雄
○ 西田 博之

龍頭泉いこいの広場、譲渡へ

処分予定金額

土地35,220,000円:建物及び構築物 無償譲渡

株式会社 NOMURA 代表取締役 野村 一

社会福祉協議会、引き続き継続利用へ

公の施設の一部を長期(10年間)かつ独占的な利用を下記に決定された。

社会福祉法人 東彼杵町社会福祉協議会

会長 福田 勝洋

千綿駅 新たな管理者へ

次の管理者(女性3名)の方は、駅舎事務所において生花及びドライフラワー等の販売をされながら千綿駅全体を管理運営されます。今後は事務所部分のみを貸付け、待合室は全て開放されます。

歴史民俗資料館無料化へ

4月より入館無料となります。





大石 俊郎 議員

町長、新庁舎建設へ

【大石】現時点における町長の方針は。

【町長】新庁舎を、10年後を目途に建設。場所、時期、財源は議会と協議する。

【大石】町民への説明は。

【町長】コロナ禍が沈静化したら、地域に向き説明をする。

小中学校の将来構想は

【大石】近い将来、小学校は1クラス15名を切ってくる。小中一貫教育問題を含めた検討委員会等の立ち上げは。

【教育長】今、答える時期ではない。理由は2点。

① 検討委員会等の立ち上げは、統廃合ありきというイメージを与えてしまう。

② 中学校が統合して3年しかたっていない。保護者や地域の方の心情面を考慮するという事です。

給食で金属ネジ混入、未公表、隠蔽では

【大石】事案発生後、現場進出を一度たりともされなかった理由は。

【教育長】理由は3点。

① 危機管理上、組織のトップは動かず、しなければならぬ職務・責務がある。

② 現場では、対応マニュアルに沿って、対応が行われている最中であり、それを優先し専念させるため。

③ 衛生基準で、関係者以外は調理場内には立ち入りできない。

【大石】中立的かつ厳正な調査は、部外者による調査が一般的だが。

【教育長】原因の調査は、早急に対応すべき。内部調査を迅速に行う事が鉄則です。

【大石】昨年6月25日に

も給食に金属ネジが入っていた。何故、昨年9月の議会で報告しなかったのか。

【教育長】当時、議会への報告は頭になかった。しかし、保護者へは詫言状を出していた。

【大石】町長は報告を受けておられたのか。

【町長】受けており、責任がある。が、保護者の方が納得されたものと思っていた。議会に報告すべきであった。

【大石】金属ネジ混入事案。議会に報告されなかった教育長の対応は、自己の保身を考慮した確信的隠蔽と思われるが。

9月議会で教育長の再任案件が上程された。議決への影響はなかったのか。

又、職員の信賞必罰はどうなっているのか。

【町長】隠蔽ではない。議決に影響はなかったと思う。(議員が知らずに議決に影響なかったと言えるのか)又、余りにも職員を締めつけすぎるのは仕事の環境に良くない。

【立山】令和2年度に改修された町民グラウンドの土が硬く、小さい石が多いと聞いていますが、A・Bコートの内野部分だけでもキメの細かい土に入れ替えが出来ないか。

【教育長】町民グラウンドの土は基準を満たしていますし、活用が増えれば土も柔らかくなると思いますが、入れ替えの予定はありません。

立山 裕次 議員

体育施設の改善と今後の活用は

【立山】令和2年度に改修された町民グラウンドの土が硬く、小さい石が多いと聞いていますが、A・Bコートの内野部分だけでもキメの細かい土に入れ替えが出来ないか。

【教育長】町民グラウンドの土は基準を満たしていますし、活用が増えれば土も柔らかくなると思いますが、入れ替えの予定はありません。

【立山】彼杵児童体育館の照明が一部LEDに交換されていますが、明るい場所と暗い場所がありますので全部を交換できないでしょうか。

【町長】今後、千綿児童体育館を解体の予定です。それに合わせ彼杵児童体



立山 裕次 議員

体育施設の改善と今後の活用は



もうすぐ50歳を迎える両体育館

育館も解体し統合を考えていますので、全体の交換は考えていません。

若い力の活用は

【立山】昨年、長崎県立大学と連携協定を締結されましたが、どのような課題解決を考えているのか。

【町長】地域の資源を活用した新しい働き方や観光等を考えているが具体的に今後検討していく。

【立山】令和元年度東彼杵中の生徒による町おこしの授業が行われていますが、今後も行われるのか。

【教育長】今後も引き続き行う予定です。

人口減少の中での町づくりは

【立山】町の人口は7年間で700人減少しているが、中でも55歳以下は600人減少している。若い方を減らさない対策はあるのか。

【町長】自宅でのリモートワーク、婚活、子育て支援、遠距離通勤の助成等の対策を考えている。

【立山】町内には高校がなく、高校生は必ず通学をしないといけないので、通学費の助成を県に要望し行えないか。

【町長】知事との面会時に行いたいと思う。

町独自でも検討したいと思っています。



口木 俊二 議員

国道205号の渋滞解消策は

【口木】昨年夏の大雨で国道205号の一部が通行止めになった際、蔵本から口木田に抜ける構造改善の道が使用されたが離合場所の確保は出来な

【町長】大型車も通り危険と感じたので通り抜け禁止の看板を設置した。離合場所については担当課と相談しながら検討したい。

【口木】立神鼻の島田入口の信号機の手前に補助信号機は出来ないか。

【町長】信号機のマークや追突注意の看板はあるが、現状は十分とは言えず国土交通省や公安委員会に安全対策についての要望をしていきたい。

【口木】渋滞緩和の決め



島田入口信号機付近

旧大楠小学校下の町道の整備は

【口木】旧大楠小学校下の町道は15年以上前から頓挫して進展していないがその理由は。

【町長】地権者が2名で1名の方の所在が分からなかったが、判明したた



未整備の旧大楠小学校下

手となる高規格道路やバイパス案はカジノを含む統合型リゾート施設(IR)の誘致が決まれば先に進むのか。

【町長】実現すれば大きな追い風になる。今年九州地方整備局から、海側・山側・現道拡張の3案が示された。

め契約直前まで行ったが諸事情により契約できなかった。交渉可能な1名の方と正式に契約できれば段階を踏まえて令和4年度に工事に着手したい。

【口木】苦情や事故はこれまでなかったのか。

尾上 庄次郎 議員

彼杵旧港の土砂堆積について

【尾上】彼杵旧港のみなと公園は懐古の広場として徳川鎖国時代長崎開港とともに海陸交通の要路として栄えた宿場町であった。江戸・長崎間を往來した先人たちがこの地にいこい、この港から時津に渡り長崎に達したものである。また、長崎県としても街づくり景観資産第1-23号彼杵宿の街道筋このまちなみは未来へ残すべき貴重な資産ですと記してあります。また、彼杵旧港船組合として台風時にプレジャーボートが緊急避難入港しますので確保している場所として記してあるが土砂堆積で船は入らない。今のままでよいのか。



尾上 庄次郎 議員

彼杵旧港の土砂堆積について



ますます堆積する土砂

音琴港の係船の岸壁改修について

【尾上】この音琴港は、彼杵の漁港としてたくさんの方が漁業で生業としている地域であり、また、台風時には漁船や大型の



いそがれる改修岸壁

プレジャーボートが緊急に避難入港して来られる方が多いと聞くが今のままの漁港の岸壁は係船場所として不十分である。改修についての対策は。

【町長】漁船30隻、プレジャーボート5隻が係船されており、改修については令和3年度の予算繰り越しで企業に工事を発注し契約済みである。工程についても打ち合わせ済みであり、千綿西宿の浚せつが終わり次第仕事にかかる。5・6月頃予定。



林田 二二 議員

中学校の大規模改修について

【林田】これまでの経緯を改めてご説明ください。

【町長】昨年9月3日に中学校PTA役員が来庁され、大雨による被害報告を受け私も皆さんと東彼杵中学校の現場確認をしました。夏休み期間中の大雨で、天井のボードが落下した現場を確認。また、人身事故もあっておりましたので非常に危険だと思い早急な対応をとり昨年9月の臨時会で予算計上。教育委員会とも協議し大規模改修にはなりません、新築は時間を要するということが、PTA役員の方からも、取り合えず改修でお願いということ、電気系統にもまだ入れたばかりで影響

があるのではないかと、中学校校舎躯体自体、60年位の耐用年数に対し40年位経過し、まだあと少し使えるのではという報告もあり、これはやはり子ども達の環境を十分に整えなければと判断しました。防水工事をした1階入口集会室ユニティホールの屋根をした(防水工事)所の雨漏りはなかった。そこだけ防水をしていただけで雨漏りがなかったと。しかし防水塗装の寿命もありまして今後はもっと頻度を上げて早めの点検・情報を聞きながら対応をしていきたい。保護者の代表である役員さんとも意見を、保護者の方にも下して、校長先生等にも協議をさせていただいて大規模改修せざるを得なかったと私が判断したということです。

【林田】昨年7月のアンケートの内容が保護者側に難しい印象を与え、その結果も見えにくく不誠実だと感じます。今回の大規模改修の件について保護者向け説明会を求める要望がありコロナを理由に実現されてないという状況です。保護者側から見ると、説明会の開催が結果として保護者の意見を聞き取れなかったという結果に繋がっているように感じます。説明会日程も決まりかけたところで、延期になり待たせたまま連絡もせずでは、不信感に繋がります。町民の方は不安を抱えながらも勇気を振り絞って窓口問い合わせしているのだから誠意をもって対応していただきたい。

【町長】アンケートは町長部局ではとっていないのでわかりませんが結果を見て大規模改修でいくと判断しました。説明会はオンラインでもいいが、コロナが落ち着けば対面方式の方がいいのではとも思っています。

令和4年度 施政方針について



浪瀬 真吾 議員

【浪瀬】道路や河川・水路・農地等の災害査定対象外の復旧や改良は。

【町長】単独費での復旧となり町農林業振興補助金の補助率を50%以内から85%以内に改正している。

【浪瀬】道の駅「そのぎの庄」に新設される情報センター内に観光協会の事務所や情報発信・案内コーナーは、設置可能か。

【町長】情報センター全体を占有することはできないが、観光協会の事務所や情報発信・案内等はできる。

【浪瀬】デジタル化の推進については。

【町長】管理職から先に研修を受けている。県8町自治体でDX推進に関する研究部会を立ち上げ先進事例の調査や包括的な

DX推進法の研究をしている。4月1日から総務課内に情報政策係を設け推進を図る。

【浪瀬】少子高齢化社会の中で高齢者(交通弱者)の移動支援(買い物支援)で、社協の車を借りているが、各地区の利用者が多くなった場合の対応は。また、過疎債の活用で車の購入はできないか。

【町長】曜日を変えて社協が使用しない時間帯で対応したい。車の手配については、3、4地区からの打診があっているのので、過疎債計画に網羅して申請をしてみたい。

【浪瀬】農業への取り組みの中で、国・県補助事業の採択が難しいものの取り組みは。

【町長】生産者部会の要望を聞き、町単独事業で支援をし、対応していく。個人に対しては出来ないが、課の方でもいろいろな情報を取り入れ、部会とも調整し新規事業も取り組む。

【浪瀬】水道インフラ整備で川内地区の老朽管の更新と漏水対策による切り替え事業は。

【町長】従来の深井戸も鉄分が多く使用できなくなりが、湧水での活用だったが、湧水のため水量が少なくなっており、補給のために多くの費用を要している。その対策として法音寺水系から木場地区にま

【浪瀬】本年4月に過疎地域の指定を受けることになったが、事業対象として大きく分けると産業振興施設等、厚生施設等、交通通信施設、教育文化施設等があるが現段階で考えていることは。

【町長】一部事務組合の町村負担金で、毎年約5千万円のごみ焼却場償還金を計画に上げさせてもらいたい。JAや漁協などが実施する事業に対する補助金交付の財源についても地方債活用が可能である。全国では、総額5,200億円計画されている。県内の過去5年間の過疎債は、ハード事業70億7千万円、ソフト事業として33億5千万円と



大石 俊郎 議員

情報センターの活用は

【大石】道の駅に新しく設置される情報センターを活かし、町の観光や文化などの情報発信は、今後どのようにして広めていけるのか。

【町長】道の駅には、年間100万人の来客があります。観光協会と連携し、情報提供施設を活用、動画を流す大型モニターを設置し、東彼杵町の情報やスポットそして文化や伝統芸能を広めていきたい。

【大石】情報センターで勤務されるスタッフ数は何名となるのか。

【町長】1名を公募し2名のスタッフです。情報センターを中心に活動されます。

町民との対話は

【大石】施政方針の中に、「可能な限り地域に出向き、町民皆様方のご意見等をお聴きし・・・」とあります。来年度の予定は。

【町長】昨年度はコロナ禍もあり、出来なかった。来年度はコロナ対策をとりながら34地区全ての地区で実施したい。

【大石】34地区全て実施されるとなると、一月あたり約3地区となる。計画的に実施されないと、この施政方針はかけ声だけに終わってしまう恐れがある。

【町長】コロナ対策上、対話のテーマを庁舎問題や過疎に絞って、短い時間で1日2箇所も計画したい。

町民の「選択と集中」公約との関連性は

【大石】来年度は、何を重視して選択され、何に集中されたのか。

【町長】財政規律を守り

議会改革特別委員会中間報告

協議事項

① 日曜議会の開催

令和元年第4回定例会の初日を12月8日(日)に開催しました。

② 開かれた議会の充実を図るためYouTube配信の取り組みについて、勉強会を開催した。

③ 政務活動費と議員報酬について

政務活動費については、「議員活動を活発化させ、書籍の購入、活動報告など、活用用途はたくさんある。若い議員がより活動しやすい状況を作っていくことが大事である」との理由で2人の議員から提案されたが、①全国的に問題になっている。廃止する議会があっても新設する議会はない。明らかに議会改革の流れに逆行しているものと思われる。②活動費チェックに議会事務局職員が当たるので、本町のような少人数職員の議会では、職員の負担が大きすぎる。

また、世論的な部分を考慮すれば今の時期導入は厳しいのではないかと等の反対意見があり、政務活動費の導入については反対多数により否決された。また、議員報酬等については、議員定数や世論の動向などを踏まえ、報酬審議委員会に付託する方向で検討していくこととなった。

町民の声

東彼杵町三根郷 地楽安廣(82才)

町議会の皆様に期待と希望を

コロナ渦で世界中、全てが様変わりしてしまいました。

デジタル化は進み人の交流、触れ合いも減少し、少子高齢化、人口減少も重なり

我が町もお茶で4年連続日本一の大偉業に輝き、少なからず望みを持ちました。しかし、時代の推移か総務省が東彼杵町を過疎地域に指定したことを知り心寂しい思いがします。町行政を始め我が町にも多くの優れている面もあり、決して落胆はしておりませんが町が全てに亘り厳しい情勢である事は実感できます。

議会だより1月号には「こうした事態の時こそ町当局・議会が一体となって問題解決に挑む」と議長のお言葉があります。当然のことです。町民から選ばれた議員に町政発展をお願いする以外に町民は何も出来ません。

行政への責任追及も必要でしょうが、そればかりでは解決不可能です。

財政厳しい中で公共事業や庁舎整備・過疎地指定など課題山積の我が町を、このままでいいのか、もう少し大局的視点に立った議論も必要ではないかと思います。

厳しい事態に直面した今、何としても乗り越えて欲しい、無理だと諦めれば壁は破れず道も開けない。究極は人数ではなく、本気の人々が奮い立てば歴史は変わり更に議員力アップが出来れば議会改革も進むと私は確信します。

錚々たる11名の議員の写真を見て「町民の為・町政発展の為に全力を尽くす」と選挙で町民に約束されております。

今こそ議員が使命感を持って「異体同心・一致団結」で奮起してもらいたい。

他町との比較ではなく、ありのままの町の姿で真摯に町民の声を受け止め町民との挨拶・声掛けを基に触れ合いの絆で「町一体・心一つ」で新たな「東彼杵町」づくりに挑戦出来ることを希望します。

議員の皆様のご活躍を大いに期待致します。

議会だよりに掲載する町民の声を募集

議会を傍聴して、議会だよりの感想、その他議会に関する町民の皆様のお寄せください。

●400字程度

●議会事務局へ持参、または郵送、メールで提出

※詳しくは議会事務局へお尋ねください。



お待ちして
まーす!

東彼杵町も過疎地域指定へ

総務厚生常任委員会

閉会中の調査事件として、総務課・まちづくり課への聞き取り調査を実施しました。

非常勤消防団

消防団員は、全国で2年連続1万人以上減少し、危機的な状況であり、今後80万人を割り込む恐れがあり、地域防災が低下することが危惧されている。

- ① 年額報酬や出勤報酬、装備や被服に係る経費等は適切に区別し、市町村において適切に予算措置すべきである。
- ② 出勤報酬の創設等に伴い、地方財政措置については、令和4年度から基準等を踏まえて見直しを行う方向で検討すること。

過疎法の対象地域指定

過疎地域の持続的発展に関する特別措置法が令和3年4月1日に公布され、東彼杵町も令和4年1月18日、新たな過疎地域に追加指定されました。特別措置法によれば、過疎地域の市町村は、持続的発展方針に基づき、当該市町村の議会の議決を経て過疎地域持続的発展市町村計画を定めることが出来る。

今後の進め方として、各課と協議し、3月末から計画書の作成を進め、4月以降地域に説明し、要望や意見の聞き取りを実施。6月議会の全員協議会において町の方向性を示し、その後、8月上旬県と協議に入り、9月議会に議案として提案することになっている。

西九州させば広域都市圏

東彼杵町では連携事業46項目中25事業で連携しており、令和2年度の負担金は5事業で60万4,615円の支出である。

道の駅広域連携や共同物産展の開催などの事業では、連携市町村との共同イベント等を開催することが出来、少ない負担金で済むメリットがある。事業は始まったばかりで課題も多々あり、4年度に向けてしっかり取り組んでいきたいとのことである。

令和4年3月17日

町内災害現場調査

産業建設文教常任委員会

近年全国各地で、地球温暖化等による異常気象で集中豪雨が発生し甚大な被害を及ぼしています。本町の令和2年度公共土木災害の被災件数は、河川14ヶ所、道路5ヶ所、農地災害は農地16ヶ所、施設13ヶ所であり、更に昨年8月中旬の集中豪雨により災害が発生し、公共土木災害の被災件数は、河川18ヶ所、道路5ヶ所で、査定決定額が1億2934万円、また、農地災害の被災件数は、農地21ヶ所、施設5ヶ所で査定決定額が5542万2千円であった。委員会では、主な災害箇所を現地調査しました。

① 串川上流のコスモス苑付近法面

町道平似田・太ノ浦線から目視した状況では、土砂が流れたような跡とシートによる保護がされている様に見受けられた。

② 蕪(春木地区)災害現場

耕地面積約1,900㎡の田で、約16メートルの石垣が崩落していた。

③ 遠目地区河川災害現場(遠の久保川、千綿川)

遠の久保川は、令和2年の集中豪雨による災害で復旧工事をされていたが、昨年の集中豪雨で更に被害が拡大し、2度の補正予算が組まれて工事は竣工している。

また、千綿川は、作業道の造成工事が行われていた。

④ 赤木(舞山地区)農地災害現場

耕地面積約2,200㎡の茶畑で、石垣の復旧面積約80㎡である。

⑤ 県2級河川の川内川災害現場

川内川は、県2級河川で、昨年の集中豪雨で被害を受け、河川の管理道路まで水かさが増した形跡が見受けられ、護岸法面や石垣基礎部分の浸食が見受けられた。



令和4年1月19日

傍聴者の声



3月の定例会の傍聴者は23人でした。

- ★議会だよりで様子をうかがえるのですが、やはりリアルに聴けてよかった。録画でもいいので、いつも見聞きできるようにしてもらいたいです。 50代 女性
- ★給食異物混入事案は、昨年6月の案件を議会や教育委員会、学校給食委員会等に報告されてなかったのはとても残念です。 60代 女性
- ★平日の昼間は社会人のほとんどが仕事しています。関心があっても傍聴できないのもっと若い世代にも関心を持ってもらえるようなオンライン等(ネット)でも見られるようにしていただきたい。 40代 女性
- ★新庁舎の件について、その流れが理解できました。私は新庁舎よりも中学校の方が重要だと思います。これから何が大切か、子どもの数は減少しても教育は大切です。 70代 女性
- ★一般質問に望むことは批判よりも東彼杵町が発展するような質問を期待します。 70代 女性
- ★議会の放映をテレビで放映できないか。住民と議会の距離感をなくすため、自宅にて議会を見ることができるよう実現してほしい。 70代 男性
- ★今日の議会は、討議がしっかり本音でなされており、とても感動した。 70代 男性

※傍聴ありがとうございました。一部抜粋して掲載しています※

編集後記

水ぬるみ、やがて、萌えるが如く新緑が映える季節となりました。

本町の令和4年度会計予算も全て可決され、新たな希望を持ち本町発展のためスタートしました。特に庁舎整備や中学校大規模改修、老朽化した公共施設の改修など多額の費用を要する重要案件は町当局、議会が問題意識を共有し、町民皆様安心して暮らせる町づくりを目指したいと思います。

議会広報も町民皆様に分かりやすいような紙面づくりにと工夫しておりますが、まだまだ未完成の部分も歪めません。忌憚のない意見をお寄せください。

(橋村)

委員長 橋村 孝彦
副委員長 大石 俊郎
委員 林田 二三
口木 俊二

浦 富男
尾上庄次郎